

99球、省エネピッチング



洗平10奪三振、完封

〇…「打線がなかなか打てなかったので、抑えられて良かった。八学光星のエリア洗平比呂は今夏の甲子園で投げた経験を生かし、身をうませ、使えるようになったので、この日も四球と制球が安定した。球数も99球と、省エネのピッチングだった。

三塁打を浴び、ピンチを招く頂上決戦では、青森県大会決勝で屈した青森山田と光星】9回に3者連続三振を奪い、マウンド上でカッツポーズする八学光星の洗平比呂

ハイライト
準々決勝で2桁安打と活発だった打線は、直球を軸に、コントロール良く変化球を投げ込む投手に手を焼き、六回まで散発する安打と凡打を重ねた。それでも、終盤に差し加かった七回のように、打線がつながる。4番山本優大がこの試合、本目の安打で出塁すると、次打者の住本悠哉が右前打で続き、一死一、三塁を好機を広げた。打席には三上。自分がここで決めてやる。内角



【準決勝・学法石川ー八学光星】7回八学光星1死一、三塁、三上祥司の中犠飛で三走山本優大が生還し、1-0とする=秋田市こまちスタジアム

薄氷の勝利だった。強打高めの直球に食らいつき、だ。執念で放った犠飛の1-0。光星が長打で詰りながらも外野に運んだ。点ナインは喜びを爆発させ、センバツ出場を突き寄せた。

大きな勝利を飾った八学光星。決勝では、青森県大会決勝で敗れた青森山田と再び激突する。復讐の兆しを見せる山本は、「青森山田は良いピッチャーがそろっているが、負けることなく打ち勝ちたい」と闘志をみなぎらせた。(千葉達也)

執念の犠飛、7回の1点死守

光星薄氷の勝利

秋季高校野球 東北地区大会

青森勢対決 きょう決勝

第76回秋季東北地区高校野球大会5日は22日、秋田市こまちスタジアムで準決勝2試合を行った。青森第1代表の青森山田は好機を確実に生かし、一関学院(宮古)①に4-0で完封勝利。青森第2代表の八学光星は学法石川(福島)②との投手戦を1-0で制した。決勝は青森県大会と同じ顔合わせの青森勢対決となった。最終日の23日は同球場で、午前10時から青森山田ー八学光星の決勝を行う。(取材班)

準決勝

学法石川(福島) 000 000 000 | 0
八学光星 000 000 10 | 1
(学) 佐藤翼一大栄
(八) 洗平一住本
▷三塁打 大栄(学)▷暴投 佐藤翼(学)
洗平(八)
▷試合時間 1時間28分
(球審=宇都宮、塁審=須藤、佐々木、近藤)

【評】八学光星が息詰まる投手戦を制した。エース洗平は1安打10奪三振の快投で学法石川打線を完封。二回、先頭打者に三塁打を許したが、後続を断って本塁は踏ませなかった。四球と暴投が絡んだ七回2死三塁のピンチも乗り切った。打線は長打ゼロの5安打に抑え込まれたが、七回に山本と住本の連打で好機を広げ、三上の中犠飛で唯一の得点を挙げて逃げ切った。